

九州大学産学連携センターデザイン総合部門 主催(平成17年度企画)

産学連携夏季特別講演のご案内

ジョイント・コラボレーション(客員教授2名がホットなテーマで講演)

日時

平成17年7月13日(水)16:30~18:00

場所

九州大学大学院芸術工学研究院(大橋キャンパス5号館511教室)

プログラム

講演1 16:30~17:00 (30分)

<演題> 気になる第3期科学技術基本計画~日本21世紀ビジョン、産学連携の行方など~

客員教授 砂田向吉

文部科学省産学官連携広域コーディネーター

アウトライン

科学技術基本法制定から今年で10年。日本文化の創造、先端分野融合、領域融合拠点の形成など経済諮問会議の提言や科学技術総合会議の課題から、重要な局面となる来年施行の方向を語る。

講師プロフィール

1946年生まれ、九州大学大学院人間環境学研究科空間システム専攻博士後期課程修了、都市計画コンサルタントや1998年USC客員教授など経て、2001年から現職。2004年から広域担当(大学間地域連携、研究領域融合分野)。平成17年度科学技術振興調整費/新興分野養成ユニット(デジタルコンテンツ分野)を経団連、映像産業振興機構等と我が国初の大規模連携を創成する企画で九大・芸工院・源田教授代表案を採択。他に、感覚特性に基づく人工環境研究拠点・21世紀COEプログラム/プロジェクト・ディレクターや高知大学学長アドバイザー、厚生労働省移植再生医療研究班委員、文部科学省融合領域研究会委員など兼務。

講演2 17:00~18:00 (60分)

<演題> 大競争時代の企業の研究開発~キャノン(株)のデザイン知財戦略について~

客員教授 菅藤昌広

キャノン(株)総合デザインセンター デザイン開発推進部 担当課長(デザイン知財統括)

アウトライン

グローバルな大競争時代に入り、企業競争力の強化が叫ばれている。メーカーでは、デザインによる製品の高付加価値化や差別化、ブランドの確立、知的財産化など、デザイン知財戦略が企業活動の重要な要素となってきた。平成17年度の産業財産制度活用優良企業等表彰で経済産業大臣表彰(意匠活用優良企業)を受けたキャノン(株)のデザイン知財戦略を最近のヒット商品を例に解説し、今後の企業の研究開発と産学連携について考察する。

講師プロフィール

1972年キャノン(株)入社。システムデザイン、映像事務機デザイン、プロダクトデザイン、MMI デザイン等の室長、デザイン管理、デザイン情報等の課長を経て現在に至る。

お申し込み・お問合せ

sangaku@design.kyushu-u.ac.jp TEL&FAX:092-553-9453 担当:山崎

TEL&FAX:092-553-4537 石村眞一 九州大学産学連携センターデザイン総合部門長